

# 家根祥多教授 略歴 主要著書・論文目録

## 略 歴

- 一九五三年 六月九日 兵庫県神戸市東灘区に生まれる
- 一九六九年 四月 兵庫県立御影高等学校入学
- 一九七三年 三月 兵庫県立御影高等学校卒業
- 一九七四年 四月 京都大学文学部入学
- 一九七八年 三月 京都大学文学部卒業
- 一九七八年 四月 京都大学大学院文学研究科修士課程入学
- 一九八一年 三月 京都大学大学院文学研究科修士課程修了
- 一九八一年 四月 京都大学大学院文学研究科博士課程進学
- 一九八三年 三月 京都大学大学院文学研究科博士課程中途退学
- 一九八三年 四月 帝塚山大学教養学部助手
- 一九八五年 四月 帝塚山大学教養学部助手退職
- 京都大学研修員
- 一九八六年 十一月 ボン大学（西ドイツ）に留学

一九八八年 一月 ボン大学より帰国

三月 京都大学研修員退職

四月 立命館大学文学部助教授

一九九六年 四月 立命館大学文学部教授

一九九九年 一〇月 雑誌『古代文化』編集参与

二〇〇一年 四月二十八日 逝去

なおこの間、大阪大学文学部、京都大学文学部、京都女子大学文学部、熊本大学文学部、東北大学文学部等で非常勤講師を勤めた。

## 主要著書および論文

### 単行本収録論文

『晩期の土器 近畿地方の土器』『縄文文化の研究 第四巻 縄文土器』 一九八一年一月 雄山閣

（泉拓良氏と共著）『縄文時代の終末』『日本歴史地図 原始・古代編（上）』 一九八二年一〇月 柏書房

（泉拓良氏と共著）『縄文時代晩期刻目突帯文土器出土遺跡 西日本』

『考古遺跡・遺物地名表』、『日本歴史地図 原始・古代編別巻』 一九八三年四月 柏書房

『定住化と採集活動』『新版「古代の日本」第五巻 近畿』 一九九二年三月 角川書店

- 「縄文文化の北と南をめぐって」『新視点日本の歴史 第一巻 原始編』 一九九三年 四月 新人物往来社
- 「原始2 縄文人の生活 木の実や根菜類 動物性食料より依存度大」 『まちと暮らしの京都史』 一九九四年 三月 文理閣
- 「縄文土器の終焉」『歴史発掘 第一巻 縄文土器出現』 一九九六年 一月 講談社
- 「山城の縄文・弥生時代」『古代史を歩く 第一巻 近江・山城』 一九八八年 六月 毎日新聞社

### 雑誌掲載論文等

- 「縄文土器から弥生土器へ」『縄文から弥生へ』帝塚山考古学研究所 一九八四年 七月
- 「紀南の弥生前期」『弥生前期地域論』帝塚山考古学研究所弥生文化研究部 一九八四年 七月
- 「晩期末縄文土器の分析」『京都大学埋蔵文化財調査報告 北白川追分町縄文遺跡の調査』 一九八五年 三月
- 「弥生土器のはじまり 遠賀川式土器の系譜とその成立」『季刊考古学』一九 一九八七年 五月
- 「学界動向 西日本における縄文後・晩期土器の編年研究」『縄文時代』一 一九九〇年 五月
- 「遠賀川式土器の成立をめぐって 西日本における農耕社会の成立」 『論苑考古学』 天山社 一九九三年 四月
- 「篠原式の提唱 神戸市篠原中町遺跡出土土器の検討」『縄文晩期前葉 中葉の広域編年』 平成四年度科学研究費補助（総合A）研究成果報告書 一九九四年 三月
- （中村豊氏と共著）「長野市宮崎遺跡の発掘調査」 『信濃』四八 四 一九九六年 四月
- 「朝鮮無文土器から弥生土器へ」 『立命館大学考古学論集』 一九九七年 一月

「先史土器にみる日本列島の「東」と「西」」 『月刊文化財』 四一〇 一九九七年一〇月

### 発掘調査報告

- 「縄文土器」 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和五一年度』 京都大学農学部構内遺跡調査会 一九七七年 三月
- 「粗製深鉢」 『和歌山県北山村下尾井遺跡』 北山村教育委員会・北山村下尾井遺跡調査会 一九七九年 三月
- 「縄文土器」 『大阪市平野区長原遺跡発掘調査報告』 財団法人大阪市文化財協会 一九八二年 三月
- 『長野市宮崎遺跡発掘調査概報』 (『立命館大学文学部学芸員課程研究報告 第九冊』) 二〇〇〇年 三月
- (共著) 『有熊遺跡第一・二次発掘調査概要』 (『立命館大学文学部学芸員課程研究報告 第三冊』) 一九九一年 三月

### 学会報告

- 「弥生土器の系譜」 立命館史学会 一九八八年 二月
- 「弥生土器の系譜 列島における農耕社会の成立過程とその歴史的意義」 御影史学研究会 一九九〇年一〇月
- 「西日本の配石遺構」 『シンポジウム「縄文時代屋外配石の変遷 地域的特色とその画期』』 山梨県考古学協会秋期大会発表要旨 一九九〇年 一月
- 「突帯文土器のはじまり」 愛知考古学談話会 一九九一年 九月
- 「近畿地方における縄文晩期編年研究の現状」 『シンポジウム「縄文時代後・晩期 安行文化 土器型式と土偶型式の出会い 発表要旨」 埼玉考古別冊 4』 一九九二年 二月
- 「刻目突帯文土器研究の現状と課題」 『突帯文土器から条痕文土器へ』

第一回東海考古学フォーラム・豊橋大会 一九九三年二月

「縄文時代の配石遺構」シンポジウム『石を並べた縄文人』

滋賀県文化財保護協会第六回埋蔵文化財調査研究会 一九九五年二月

「近畿地方の空帯文土器出現期の様相」『縄文時代晩期の土器編年の諸問題』

第六回中四国縄文研究会 一九九五年六月

“From Jomon to Yayoi : Birth of agricultural society in western Japan from the ceramics perspective”

From the Jomon to Star Carr : Hunter-Gatherers of East and West Temperate Eurasia.

An international conference held in the Universities of Cambridge and Durham 一九九五年九月

### 翻訳

共訳(グスタフ・マール氏)「シャルロットンプルクのアート館」先史原史博物館

『ベルリン美術館(西)』岩波書店 一九八九年二月

### 辞典

「高山寺式土器」、「滋賀里式土器」、「丹治式土器」、「檀原式土器」

『日本土器事典』雄山閣 一九九六年二月

「縄文時代」ほか六四項目

『岩波日本史辞典』岩波書店 一九九九年一〇月

## その他

- |                     |                   |         |
|---------------------|-------------------|---------|
| 「京都府加悦町有熊遺跡の調査」     | 『学共眞News Letter』二 | 一九九〇年二月 |
| 「岐阜県大野郡朝日村森乃下遺跡の調査」 | 『学共眞News Letter』四 | 一九九二年三月 |
| 「長野市宮崎遺跡の調査」        | 『学共眞News Letter』七 | 一九九五年三月 |
| 「長野市宮崎遺跡の第二次調査」     | 『学共眞News Letter』八 | 一九九六年三月 |
| 「長野市宮崎遺跡の第三次調査」     | 『学共眞News Letter』九 | 一九九七年三月 |
| 「長野市宮崎遺跡の第四次調査」     | 『学共眞News Letter』一 | 一九九九年三月 |